

アクサ世界株式ファンド

追加型投信／内外／株式

償還交付運用報告書

第7期（償還日 2024年12月19日）

作成対象期間（2024年10月17日～2024年12月19日）

第7期末（2024年12月19日）	
償還価額	13,938円78銭
純資産総額	34百万円
第7期 (2024年10月17日～2024年12月19日)	
騰落率	6.1%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ世界株式ファンド」（以下、「当ファンド」といいます。）は、去る2024年12月19日をもちまして償還させていただきました。

当ファンドは、投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の株式に投資することにより信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

ここに、運用状況と償還内容をご報告申し上げます。これまでのご愛顧に対して厚くお礼申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド情報」、「ファンドの各種資料等」から、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を閲覧およびダウンロードすることができます。

○「運用報告書（全体版）」は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

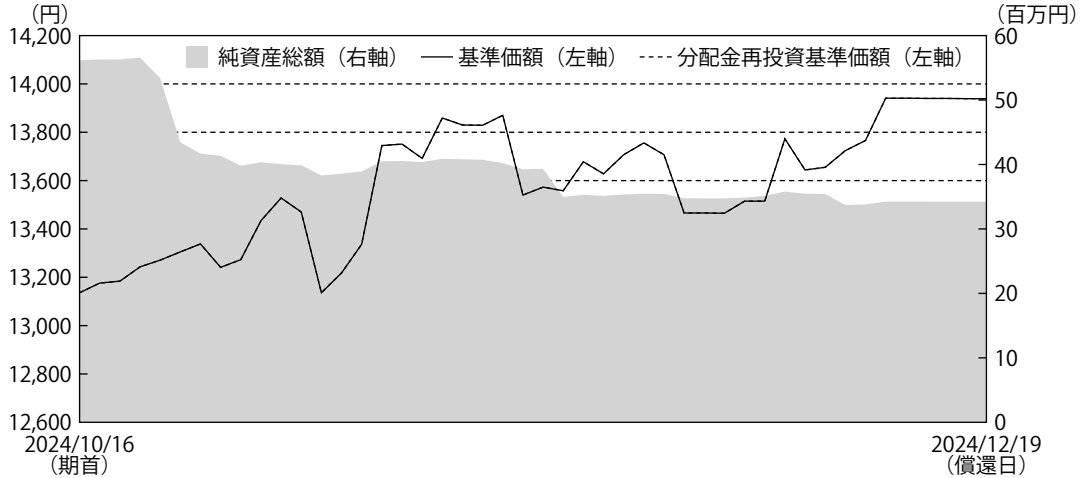
アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

運用経過

■基準価額等の推移について

(2024年10月17日～2024年12月19日)



期首：13,136円

償還時：13,938円78銭（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 6.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

当期は、主として保有している株式の株価が上昇したことがプラスに寄与して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

(2024年10月17日～2024年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.148%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,589円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.116)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.029)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	20	0.148	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

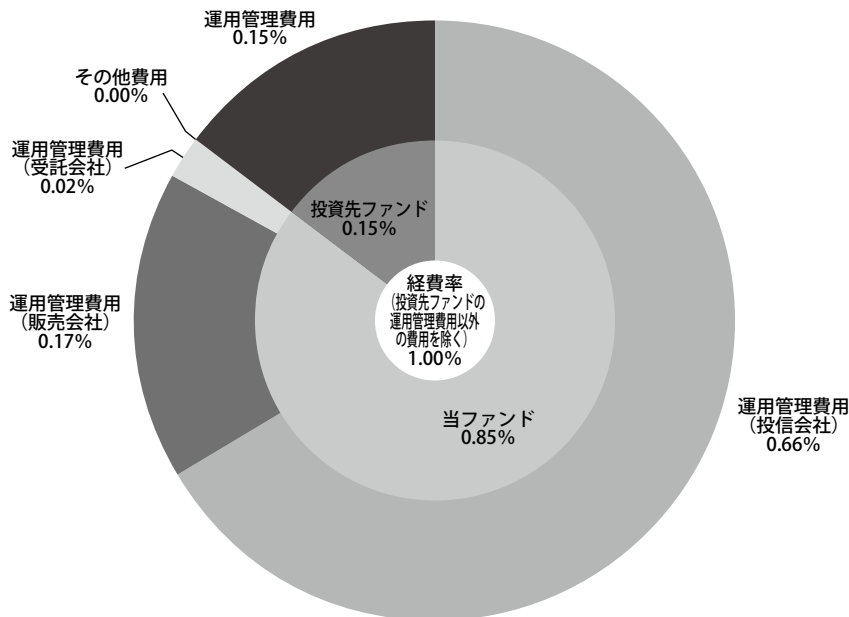
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、ファンドが組み入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ（Mシェアクラス）」が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1%です。

経費率 (①+②)	1.00%
①当ファンドの費用の比率	0.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」です。

(注5) ①の費用は、「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った費用を含み、「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」が支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」には運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年10月29日～2024年12月19日)



決算日		2021年10月29日 設定日	2022年4月18日 決算日	2023年4月17日 決算日	2024年4月16日 決算日	2024年12月19日 償還日
基準価額	(円)	10,000	9,609	9,439	12,200	13,938.78
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△3.9	△1.8	29.3	14.3
純資産総額	(百万円)	5	15	29	50	34

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■投資環境について

当期のグローバル株式市場は、米大統領選後の米国株上昇によって当初押し上げられましたが、期間全体では下落しました。トランプ新政権の成長促進政策に対する楽観的な見方が薄れ始めるとすぐに、インフレの持続や世界貿易への関税の影響を巡る懸念が株式市場で台頭し始めました。中国と欧州の景気低迷もそれぞれの国内市場を圧迫しました。12月の欧州製造業PMIは2025年もマイナス成長が続く可能性が高いことを示唆しています。

■当該投資信託のポートフォリオについて

○当ファンド

当期も主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレズ（Mシェアクラス）」を高位に、国内籍投資信託「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行ないましたが、2024年12月19日の繰上償還に向け、組み入れていた投資対象ファンドはすべて2024年12月11日に売却しました。各投資対象ファンドにおける運用経過は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレズ（Mシェアクラス）

当ファンドの当期のパフォーマンスは、主にヘルスケアや通信サービスセクターでの銘柄選択が好調だったことにより、MSCIオール・カンントリー・ワールド指数に代表されるグローバル株式市場全体のパフォーマンスを上回りました。

「高齢化とライフスタイル」分野に関連するヘルスケア企業が当期間のパフォーマンスへのプラス寄与度で上位に入りました。米国の医療機器会社GLOBUS MEDICALは好調な2024年7－9月期決算を発表し、最近買収した医療機器会社NU VASIVEの統合が市場予想を上回る速さで進んでいることを示しました。米国の医療機器メーカーDEXCOMの2024年7－9月期決算で新規患者の受け入れ開始が発表され持続血糖モニタリングの市場シェアの下げ止まりを投資家が確信したことにより、同社の株価は7月以降の下落分の一部を取り戻しました。

一方で、米国のテクノロジー企業UBER TECHNOLOGIESが当期間の主要なマイナス寄与銘柄となりました。米国の自動運転車開発企業WAYMOが2025年に米国で事業を拡大する計画であるとの発表を受け、市場シェアを失うのではないかと懸念が生じたことにより、同社の株価は下落しました。

過去2か月間の顕著な変化としては、米国の化粧品会社ESTEE LAUDER株の売却と、売却で得た資金でフランスの化粧品会社L'OREALへの再買付が挙げられます。コロナ禍後の美容業界は大量の在庫と消費者の購買習慣の変化に直面しています。L'OREALは競合他社よりも優れた商品カテゴリー管理を行っており、より良い提案を顧客に提供して市況回復を業績向上につなげることができると当社は考えています。12月には、本ポートフォリオで保有していた中国の電子商取引大手ALIBABA株を売却し、これに代えて、より高い成長とより有利な競争上の地位を期待できる中国のオンライン旅行プロバイダーのTRIP.COMの株式を購入しました。

○アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

高格付サムライ債をポートフォリオの20%程度、高格付国内事業債を30%程度保有することによりベンチマークを上回る運用リターンを目指すと同時に、国債、地方債、機構債を50%程度保有することにより流動性を確保しております。平均残存年限は10.2か月、加重平均格付けはAプラスとなっております。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の基本方針または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

■分配金について

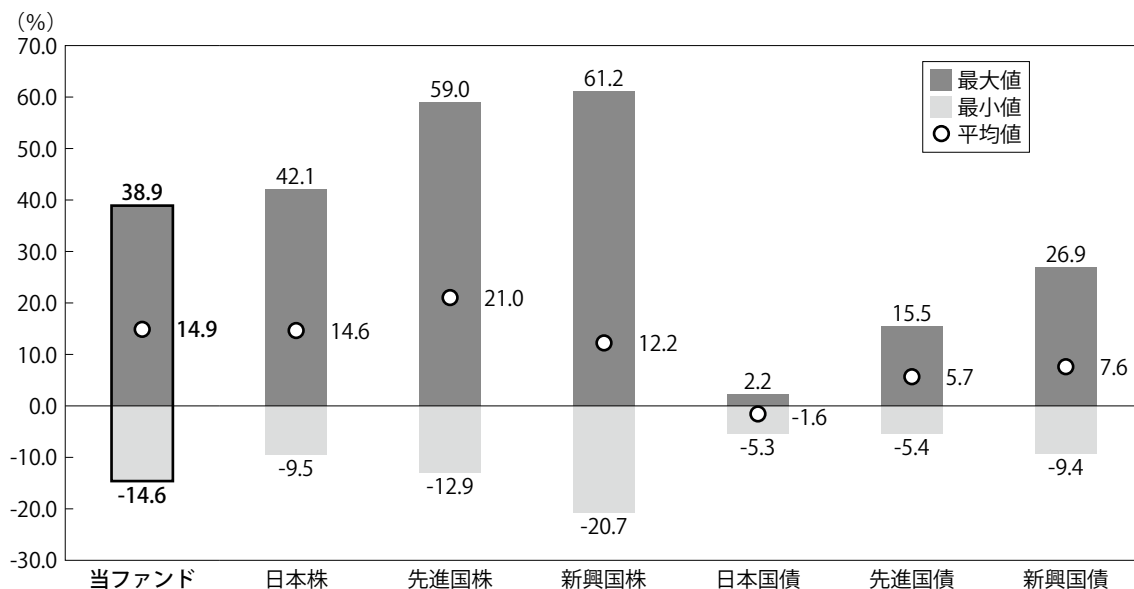
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年10月29日（設定日）から2024年12月19日まで（当初無期限）	
運用方針	主として国内外の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」ということがあります。）への投資を通じて、世界の上場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ（Mシェアクラス）
		日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド 円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	主として国内外の投資対象ファンドへの投資を通じて、世界の上場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ（Mシェアクラス）
		●主として、世界の上場株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ●市場動向によっては、非上場株式および債券等に投資を行う場合があります。 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド ●本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行います。 ●日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとし、これを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
組入制限	1 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 2 株式への直接投資は、行いません。 3 外貨建資産への直接投資は、原則として行いません。	
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ② 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2019年12月～2024年11月)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	38.9	42.1	59.0	61.2	2.2	15.5	26.9
平均値	14.9	14.6	21.0	12.2	△1.6	5.7	7.6
最小値	△14.6	△9.5	△12.9	△20.7	△5.3	△5.4	△9.4

*上記のグラフは、2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は2024年9月末から60ヶ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは2022年10月から2024年11月の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ指数 (税引後配当込み、円建て)

新興国株・・・S & P 新興国総合指数 (税引後配当込み、円換算)

日本国債・・・ブルームバーグ日本総合指数

先進国債・・・ブルームバーグ・グローバル国債 (日本を除く) トータル・リターン指数 (円建て)

新興国債・・・JPモルガン EMBI グローバル・ディバースファイド指数 (円換算)

(海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、円で表示しています。ドルベースの指数については、委託会社が円換算しております。)

ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容

2024年12月19日現在、有価証券等の組入れはありません。

■純資産等

項 目	第 7 期 末
	2024年12月19日
純 資 産 総 額	34,233,159円
受 益 権 総 口 数	24,559,644口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	13,938円78銭

※当期における追加設定元本額は978,902円、解約元本額は19,185,335円です。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社（以下「JPX」といいます。）が所有しています。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数で、MSCI Inc. の知的財産であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、掛かるデータに基づく投資による損失に一切責任は負いません。
- ・S & P新興国総合指数（税引き後配当込み）：S & P新興国総合指数（税引後配当込み）は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスが公表している株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。
- ・ブルームバーグ日本総合指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本の債券で構成される債券指数です。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成される債券指数です。「Bloomberg®」およびブルームバーグ日本総合指数とブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社（以下、当社）による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、アクサ世界株式ファンド（以下、当ファンド）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
- ・JPモルガンEMBIグローバル・ディバーシファイド指数は、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国の債券で構成される指数です。同指数の著作権およびその他知的財産権はすべてはJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

上記指数の円換算ベースは当社が独自に算出したものを採用しています。